

農山漁村地域整備計画 事後評価書

計画の名称	しまねの漁業をささえる基盤整備計画（離島）
計画策定主体	島根県
対象市町村	隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）

計画の目標
 島根県の離島においては、水産資源の減少や漁業従事者の高齢化等を背景に漁獲量の減少が懸念されている。
 このことから、生産拠点である「漁港」、漁業者を始めとした地域住民の生活基盤である「漁村」を総合的に整備し、水産物の生産性向上と安全で快適な漁村環境の形成を目指す。

- 定量的指標
- ①都万地区、豊田地区において岸壁等の漁港施設を整備することで、漁船が通常係留することが可能となる係船岸を16隻分増やし、水産物の生産性を向上させる。
 - ②美田地区、大久地区において漁業集落排水施設整備を実施することで、当該地区における汚水処理人口普及率を100%に向上させ、快適な漁村環境の形成を図る。
 - ③知夫地区において防波堤の整備を行うことで、港内の静穏度が向上することにより係留作業等の漁業活動の安全性の確保、効率化が図れる（係留準備時間の短縮：40分→30分）
 - ④多井、珍崎地区において集落道の整備を行うことで、緊急活動の移動時間の短縮が図れる（多井：10分→3分、珍崎：13分→3分）
 - ⑤加茂地区において臨港道路の整備を行うことで、漁業者等の移動時間が約5分短縮され、漁業活動の効率化が図れる。
 - ⑥津戸地区において外郭施設の整備（改良）を行い、越波等の被害が軽減されることにより、漁船の荒天時避難回数が減少する（80回/年→50回/年）。
 - ⑦隠岐地区において海岸保全施設の長寿命化計画を策定することで、予防保全型の維持管理を導入し、ライフサイクルコストの最小化が図れる（長寿命化計画策定：0漁港海岸→2漁港海岸）

各定量的指標に対する実施箇所の概要

①漁船が通常係留することが可能となる係船岸を16隻分増やし、水産物の生産性を向上させる。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考
水産物供給基盤 整備事業	(地域水 産物)	豊田	海士町等	海士町	-3.0m岸壁L=35m -5.0m岸壁(改良)L=20m	H22～H24	181,830	

②事業実施対象地区における汚水処理人口普及率を100%に向上させ、快適な漁村環境の形成を図る。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考
漁港漁村環境整 備事業	(漁村再 生)	大久	隠岐の島町等	隠岐の島町	集落排水施設(汚水)N=1式 集落道L=552m等	H23～H26	535,537	

③港内の静穏度が向上することにより係留作業等の漁業活動の安全性の確保、効率化が図れる。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考

④緊急活動の移動時間の短縮が図れる。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考
漁港漁村環境整 備事業	(漁村再 生)	多井	海士町等	海士町	集落道L=294m等	H23～H25	134,550	

⑤漁業者等の移動時間が約5分短縮され、漁業活動の効率化が図れる。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考

⑥越波等の被害が軽減されることにより、漁船の荒天時避難回数が減少する。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主 体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工 期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考

⑦予防保全型の維持管理を導入し、ライフサイクルコストの最小化が図れる。

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主 体	関係 市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工 期	計画期間内の 総事業費 (千円)	備考

事業効果の進捗状況、発現状況、目標値の達成状況

【交付金対象事業の進捗状況】

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施 主 体	関係 市町村	進捗状況	目標 (番号)
水産物供給基盤 整備事業	(地域水 産物)	豊田	海士町等	海士町	予定どおり完了しました。	①
漁港漁村環境整 備事業	(漁業集 落環境)	美田	西ノ島町等	西ノ島町	全体計画における進捗率94% (事業費ベース)。残事 業を第2期計画において引続き実施。	②
漁港漁村環境整 備事業	(漁村再 生)	大久	隠岐の島町等	隠岐の島町	予定どおり完了しました。	②
水産物供給基盤 整備事業	(地域水 産物)	知夫	島根県	知夫村	全体計画における進捗率33% (事業費ベース)。残事 業を第2期計画において引続き実施。	③
漁港漁村環境整 備事業	(漁業集 落環境)	珍崎	西ノ島町等	西ノ島町	全体計画における進捗率10% (事業費ベース)。残事 業を第2期計画において引続き実施。	④
漁港漁村環境整 備事業	(漁村再 生)	多井	海士町等	海士町	予定どおり完了しました。	④
水産物供給基盤 整備事業	(地域水 産物)	加茂	島根県	隠岐の島町	全体計画における進捗率4% (事業費ベース)。残事 業を第2期計画において引続き実施。	⑤
水産物供給基盤 整備事業	(地域水 産物)	津戸	島根県	隠岐の島町	全体計画における進捗率3% (事業費ベース)。残事 業を第2期計画において引続き実施。	⑥
海岸保全施設整 備事業(漁港)	(海岸保全施 設整備)	隠岐	島根県	西ノ島町、 知夫村	予定どおり完了しました。	⑦

【定量的目標に関連する交付金対象事業の効果の発現状況】

①漁船が通常係留することが可能となる係船岸を16隻分増やし、水産物の生産性を向上させる。 ・計画どおり係船岸を整備することで、係留作業時間の軽減が図られることで生産性が向上している。
②事業実施対象地区における汚水処理人口普及率を100%に向上させ、快適な漁村環境の形成を図る。 ・大久地区においては終末排水処理施設の整備の完了により、生活環境が向上し快適な漁村環境に寄与している。 ・美田地区においては第2期計画へ移行していることから今回評価は実施しない。
③港内の静穏度が向上することにより係留作業等の漁業活動の安全性の確保、効率化が図れる。 ・対象事業箇所が第2期工事へ移行していることから今回評価は実施しない。
④緊急活動の移動時間の短縮が図れる。 ・多井地区の集落道の整備により、緊急車両が集落内に進入できるようになり、緊急活動の移動時間が7分短縮される ことが見込まれる。 ・珍崎地区においては第2期計画へ移行していることから今回評価は実施しない。
⑤漁業者等の移動時間が約5分短縮され、漁業活動の効率化が図れる。 ・対象事業箇所が第2期工事へ移行していることから今回評価は実施しない。
⑥越波等の被害が軽減されることにより、漁船の荒天時避難回数が減少する。 ・対象事業箇所が第2期工事へ移行していることから今回評価は実施しない。
⑦予防保全型の維持管理を導入し、ライフサイクルコストの最小化が図れる。 ・計画どおり長寿命化計画策定が完了し、今後、計画的な維持修繕・維持点検が可能となった。

【定量的指標の達成状況】

定量的指標	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因等
	目標値	実績値	
①漁船が通常係留することが可能となる係船岸を16隻分増やし、水産物の生産性を向上させる。	目標値	16隻	目標達成
	実績値	16隻	
②事業実施対象地区における汚水処理人口普及率を100%に向上させ、快適な漁村環境の形成を図る。	目標値	100%	大久地区のみ評価（美田地区は第2期計画へ移行しているため。）
	実績値	100%	
③港内の静穏度が向上することにより係留作業等の漁業活動の安全性の確保、効率化を図れる。	目標値	10分短縮	第2期計画へ移行。 （次期計画にて評価）
	実績値	-	
④緊急活動の移動時間の短縮を図れる。	目標値	7分短縮	多井地区のみ評価（珍崎地区は第2期計画へ移行しているため。）
	実績値	7分短縮	
⑤漁業者等の移動時間が約5分短縮され、漁業活動の効率化を図れる。	目標値	5分短縮	第2期計画へ移行。 （次期計画にて評価）
	実績値	-	
⑥越波等の被害が軽減されることにより、漁船の荒天時避難回数が減少する。	目標値	50回/年	第2期計画へ移行。 （次期計画にて評価）
	実績値	-	
⑦予防保全型の維持管理を導入し、ライフサイクルコストの最小化を図れる。	目標値	2海岸	目標達成
	実績値	2海岸	

今後の方針

・本県における漁場・漁港・漁村の整備（水産基盤整備）の推進にあたっては、「島根県水産基盤整備指針」等に基づき「Ⅰ.豊かな資源づくり」「Ⅱ.水産業の拠点づくり」「Ⅲ.暮らしやすい地域づくり」を基本としており、農山漁村地域整備計画（H22～H26）においても当該指針の基本方向に基づき事業を実施し一定の効果があつた。
 今後は、引続き更なる水産基盤整備の推進のために、現在計画・事業中の第2期計画（H27～H31）を適切に実施し、水産業と漁村地域の振興に努める。